

市政のできごと

11/12

経済界などのトップがアドバイス
— 大村市顧問会議 —

第10回大村市顧問会議が東京都内で開かれました。市側から市長はじめ6人が出席し、大村市にゆかりがあり大企業などのトップである本市顧問の皆さんに、市長から市の現状や展望などを説明し、意見交換を行いました。

顧問の皆さんからは、ふるさと大村の飛躍、発展を期待する質問や意見が寄せられました。

出席いただいた顧問の皆さんは、紀内隆宏氏（全国市町村振興協会顧問）、古森重隆氏（富士フィルムホールディングス代表取締役社長兼CEO）、杉田亮毅氏（日本経済新聞社代表取締役会長）、中西英介氏（旧コマツ電子金属代表取締役社長）の4人です。（五十音順）

11/13

国道34号大村拡幅等の事業促進を国土交通大臣等へ要望



官民で組織する「国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会」（会長 松本市長）は、地元選出国會議員、国土交通省などへ、国道34号大村拡幅、都市計画道路の早期完成などの事業促進について要望活動を行いました。期成会では、引続き各方面との協力体制を強化し、全区間の早期完成を目指します。

11/17

九州新幹線西九州（長崎）ルート
— 大村鉄道建設所開所式 —



鉄道・運輸機構九州新幹線建設局の大村鉄道建設所の開所式が、県内関係自治体、JR九州関係者などが出席し行われました。

大村鉄道建設所は、バスターミナル前のビル内に開所し、今後武雄温泉～諫早間のうち俵坂トンネル工区境から諫早駅までの約30kmの土木工事を行います。

松本市長は市の工事区間の建設発注など地元企業の活用をはかるなどの要望書を12月1日、九州新幹線建設局に提出しています。

11/28

ロボット製造企業
オフィスパーク大村に立地表明



産業用ロボットシステム・計測機の開発製造を行う「ユニクラフトナグラ」が市内雄ヶ原町のオフィスパーク大村に立地表明しました。

同社は静岡県湖西市に本社を置き、同県内に10か所、愛知県に1か所の工場を操業中で、東海地区以外への進出は初めてとなります。

新工場は平成23年10月までの操業開始を目指し、18人の地元雇用が予定されています。

12/1

長崎空港ターミナルビル改装オープン



長崎空港旅客ターミナルビルの増改築工事が完成し、全面オープンしました。

改装は、床面積の増築、ビル正面のガラス張り、ロビーの拡張、エスカレーターやトイレの増設、有料ビジネス라운ジの新設などで、工事は2年間にわたりました。

完成式には、松本市長をはじめ県や航空会社関係者約150人が参加し、テープカットで完成を祝いました。

12/3

「ミニポートピア天文館」オープン



大村競艇の場外発売場としては6か所目となる小規模場外発売場「ミニポートピア天文館」が、鹿児島県鹿児島市の天文館地区にオープンしました。

「ミニポートピア天文館」では、年間10.5億円の売上を見込んでいます。

また12月2日には、鹿児島県志布志市と小規模場外発売場「オラレ志布志」の開設に関する行政協定調印式を行い、来年4月の開業を目指します。

長年にわたり清掃ボランティアに尽力

平成20年秋の褒章において、市内で長年、清掃ボランティアを行っている1個人と1団体に対し、社会奉仕活動で功績があった人に贈られる緑綬褒章・褒状（緑状）が贈られました。受章された皆さんの活動のようすなどをご紹介します。

緑綬褒章を受章された堀之内四郎さん（玖島2丁目）は、平成元年4月から毎日、自宅から大村公園、円融寺を通る朝の散歩にあわせて、道路に散乱している空き缶やごみなどの回収を続けられています。

「始めた頃はまだ町内に空き地が多くて、ごみが散乱しているのが気になりました。特に円融寺周辺は観光で来られる人も多いので気持ちよく見てほしいと思いましたが」と始めたきっかけについて話されています。長いときには2時間くらいかかることもあったそうですが、「最近では皆さんの環境



緑綬褒章を受章した堀之内四郎さん

社会奉仕活動で褒章受賞

意識が高くなったのかごみが少なくなりました」とのこと。

このような地域の環境美化や町内でのリサイクルの推進などの取り組みにより今回の受章となりました。

「身に余る章をいただき大変光栄です。今後も力の続く限り努力していきます」と喜びを話されました。

褒状（緑状）を受章された富の原1丁目老人会は、町内に住む60歳以上の人で構成され、現在会員が78人。昭和42年の老人会設立当初からほぼ毎日、町内の公園の清掃、側道の花だんの手入れなどを続けられています。

「当時、富の原地区は新しくできたまちでした。自分たちの住むまちの環境を良くしたいの思いから清掃を始めました。長く続けられているのも同じ思いからです」と赤木信雄会長は話します。

清掃を行っている富の原1丁目公園の一



褒状（緑状）を受章した富の原1丁目老人会の皆さん（前列右から2人目 赤木会長）

角には、平成16年に受賞した環境大臣表彰の記念碑が建てられています。12月中には今回の受章の記念碑を新たに建てるそうです。

赤木会長は今回の受章について、「会員一同とても喜んでいきます。今後も、まちをきれいにという気持ちをもとつに活動を続けていきます」と話されました。